

HIDEYO SALON

お待たせしました。

サロン・コンサート No.22 のご案内です。

今回は、火の山の麓 [“Pompei \(ポンペイ\)”](#) をご紹介しましょう。

西暦一世紀のある日、ヴェスーヴィオ火山の大噴火により一瞬にして火山灰に埋もれてしまった街です。まるでタイムカプセルの中で保存されていたように、発掘された街からは、当時の生活の様子が生き生きと甦ります。通りには道路標識、わだちの後、パン屋には焼きたての丸いパン、カウンターのある酒屋の店先には、ワインや蜂蜜を入れた壺が並びます。神殿や屋敷のモザイク床や壁画からは、周囲の豊かな自然に恵まれた、人々の高い文化生活を伝えています。

ゲストに、フルート奏者の[矢野正浩](#)さんを迎えます。ザルツブルグ、モーツァルテウム音楽大学を経て旧西ドイツ国立トロッシンゲン音楽大学・大学院を最高点で修了、ドイツ各地で活躍の後、フィンランド・ヨエンスウ市立管弦楽団首席フルート奏者として迎えられました。当日はC.ドビュッシー「シリンクス」、C.W.グルック「精霊の踊り」、A.ピアソラ「タンゴエチュード」より**第3番、第4番**、G.ビゼー『アルルの女』よりメヌエット、等を演奏して下さいます。ピアニストは、もちろん、関西を中心に活躍しておられる[正田歩](#)さんです。私は、古代の物語に思いを馳せて [カミーユ・サンサーンス \(1835-1921\)](#) の、『サムソンとデリラ』(1877年作曲)の aria、「見えないフルート」をピアノとフルートの三重奏でお届けします。ヴェスーヴィオ火山といえば、お決まりは「フニクリ フニクラ」、登山客を誘う世界初のコマーシャル・ソングです。

今回のフェスタ・イタリアーナは、イタリア音楽協会 L.S.N.企画『若きシェフの試食ランチ』で毎年活躍して下さっているイタリアン・シェフ[倉重宣弘](#)さんの登場です。この日の為に「オリジナル前菜」を考案。火の山の麓「ポンペイ」、ヴェスーヴィオ火山を眺めながら、古代の食卓にはどんな料理が並んだのでしょうか。今年の蔵出し赤ワインで乾杯です。どうぞ、お楽しみに!!

2007年10月10日 南雲英代

* [L.S.N.会員の皆様がお誘い下さいました方々も、割引チケットをお求めいただけます。](#)

*チケットは、先着 180 名様です。なるべくお早めにお求め下さいね。